

本誌独占インタビュー 激白30分

松絳タイムズ

校長先生を身近に感じよう

発行

米子松蔭高等学校

生徒会

新校長 長崎成輝先生に問う



本紙のインタビューに笑顔で応じる長崎校長先生。

日本では、元号が平成から令和に変わり、新天皇が即位するという大きな変化がありました。米子松蔭高等学校でも大きな変化がありました。佐伯友茂校長先生退任、長崎成輝新校長先生就任。これは学校が大きく変わるきっかけと思われる。長崎校長先生とはどのような方なのでしょう。そこで本紙記者が長崎校長先生に突撃インタビューを敢行。いろいろ質問してみました。

晴れやかな空が澄み渡る。二月三日、生徒会取材班は校長室への突入準備を整えていた。普段足を踏み入れることのない校長室。かつてない緊張感が走る。取材班はついに長崎校長先生独占インタビューに成功した。

のだ。大きく深呼吸をし、いざ入室。予想に反して入室してすぐ長崎校長先生からねぎらいの言葉があり、我々取材班は笑顔で迎えられる。徐々に緊張がほぐれ、和やかな雰囲気。質疑応答は進んでいった。

令和時代を暮らしていく君たちへ

我々取材班が長崎校長先生に高校生活を充実させる方法についてお聞きしたところ、長崎校長先生は即座に「生徒の皆さんには失敗を恐れず、何事にも積極的かつ貪欲（どんよく）にチャレンジしてほしい」と答えられた。そして日常の勉強だけでなく、部活動をはじめとする課外活動に対しても「学校での活動のみならず多種多様な活動や人々との交流を通して得られる経験は、学校生活のみならず日常生活、そしてその先の人生を充実させることができるので、多くの生徒に参加してほしい」と熱弁された。長崎校長先生の顔は、人生の重大な岐路（ききろ）に立つ全生徒の皆さんにこういった経験を通して人間として成長してほしいように見えた。

人生充実のカギは 高校生活の中に

そして長崎校長先生は「高校生は、悩みを多く抱える時期であるので、さまざまなことに苦悶（くもん）するだろうし、今この瞬間も悩みを抱えている生徒もいると思うが、『There is always light behind the clouds（雲の向こうはいつも青空）』という言葉にもあるように、悩みを乗り越えた先には必ず青空が広がっている。悩むことも成長に必要な要素であると捉え、前向きに考え、成長していつてほしい」と『若草物語』で知られるアメリカの小説家ルイーザ・メイ・オルコットの言葉を引用して力強く話された。そんな小説家がいるのかと戸惑い、こうした知識を持つている長崎校長先生にびっくりするどともに良い言葉だと感じた。『雲の向こうはいつも青空』を合言葉にしましょう。

新時代、生徒とともに

次に取材班が長崎校長先生に米子松蔭高等学校を校長として、今後どのような学校にしていきたいかと質問したところ、長崎校長先生は「どうしても大人の視点では生徒の気持ちや考えをすべて理解することは難しい。生徒の目線に立ち生徒の気持ちも大切にしながら、教師として一人ひとりの生徒を最大限伸ばし育成し

ていきたい」と述べられた。そして校長として、そういった教員を育てるとともに自身も率先してそういった教員になりたいと令和時代に決意を表明した。長崎校長先生はまた「それと同時に、さらに生徒の目標達成や希望する進路に進めるよう尽力したい」と、熱く語られた。そうした熱い言葉を聞いて取材した我々も今まで以上に勉学に努めなければならぬと襟を正した。

これまでの生徒会、これからの生徒会について

最後に長崎校長先生に生徒会活動についての評価を求めると、長崎校長先生は最初に「頼りがい

がある」と言い切った。真意がつかめない我々に対して長崎校長先生は、これまでの生徒会について「文化祭と体育祭がひとつになるという大きな変化に対応したり、自動販売機の設置を行ったりと、とても行動力のある組織だった」と伝え、最大限の賛辞を贈られた。そして長崎校長先生は、退任した前年度生徒会メンバーをねぎらうとともに、これからの新生徒会の活動に対しては、以前の生徒会の良い点を引き継ぎつつも、主体的に学校のことを考え、新たなことにチャレンジしていくしてほしい、校長として生徒会の活動を見守っていきたくて期待感を示した。

知られざる長崎校長先生の秘密

長崎校長先生と触れ合う機会が少ない私たち生徒。そこで長崎校長先生に質問を投げかけてみました。

Q. 名前は何と読むのですか？

A. 「ながさきせいぎ」です。覚えて下さいね。

Q. 教員になろうと思ったきっかけは？

A. 自身が学生の時に尊敬する先生がいて、その姿にあこがれを感じたからです。

Q. ストレス解消法は？

A. あまりストレスを感じるほうではないと思いますが、しつこく言うなら家で飼っている犬と散歩することです。

Q. 年齢は？

A. 五二歳です。

Q. マイブームは？

A. 旅行をすることが好きで、学生の頃から旅行に行っていました。

Q. 座右の銘は？

A. 特にありません（記者はその言葉に歴史は自分で作るものだという長崎校長先生の気概を感じた）。

Q. 血液型は？

A. なんだと思いますか、実はB型です。よく意外だねと言われます。

不定期連載小説 Kちゃん学校生活体験記

十二月六日、献血セミナーを終えて血液提供の重要性を感じた私は献血の受付へと足を運んだ。

受付である視聴覚室には約十名が待機しており、緊張感が漂っている。用紙に必要事項を書き込み、献血登録を終え血圧を測り、いざ血液検査。左腕に大きく血管が見えたためそちらは献血用に残り、右腕から採血を行った。予防接種の時より少し太い針が刺される。痛みはあまり感じなかったが、血液が採れない。すると採血担当の方が「少し間をおいてからもう一度行おう」と言った。会場で渡されたスポーツ飲料を飲みながら十分ほど経過後、血液が無事採れるよう祈りながら再度挑戦する。緊張の一瞬。腕に針が突き刺さる。だが血液が出ない。私は「今回は献血を辞めてもよろしいですか？」と申し出ようと思った。その思いは担当者の方も同じだったように「今回はやめておきますか？」と言われたその刹那、私の腕から血液が噴出し、空白の採血容器を赤く染めた。喜びや驚き、緊張が合わさった複雑な気持ちになった。さて、トラブルを乗り越え、いよいよ献血の時がきた。正面玄関に停車している献血バスに乗り込むと、車内にはラジオがかかっており、受付の方がお茶やスポーツ飲料を飲むよう勧められる等、予想に反してアットホームな雰囲気であり、リラックスして献血を受けることができた。献血も終わり、自分の血液バッグを見るとクリッシュ二つ分ほどの大きさに膨れていた。今回惜しくも参加できなかった諸君も来年男子は十七歳、女子は十八歳かつ体重五〇キロ以上になったのなら、ぜひ参加することを勧める。

米子松蔭高等学校3学期の予定

- 一月 七日(火) 三学期始業式
- 十一日(土) 本校前期入試
- 十三日(月) 成人の日
- 十八日(土) 十九日(日) 大学入試センター試験
- 二二日(水) 二四日(金) 三年生卒業考査
- 二月 四日(火) 本校後期入試
- 十一日(火) 建国記念日
- 十九日(水) 振替休日
- 二〇日(木) 二六日(水) 一、二学期末考査
- 二二日(日) 天皇誕生日
- 二四日(月) 振替休日
- 二八日(金) 卒業式予行
- 三月 二日(月) 卒業式
- 四日(水) 六日(金) 二年生研修旅行
- 二〇日(金) 春分の日
- 二五日(水) 三学期終業式

※行事予定は変更になる場合があります。ご了承ください。